



学校だより

小松川第二小学校

校長 五十嵐 一嘉

先人の言葉から学ぶ

校長 五十嵐 一嘉

今年度は、プールを使用しての体育の「水遊び、水泳」の学習を6月10日から始めました。例年より一週間早い設定でした。時期的に少し早いので、水泳等を実施できるか心配しましたが、現在まではほぼ順調に学習を進めることができています。小学校でのプールを使用しての学習は年間で8時間程度と計画されています。今後も児童の安心、安全に配慮しながら、プールでの学習を進めます。

数年前から、屋外プールを使用しての体育学習について、様々な考えがあるようです。地区によっては、公立の小、中学校の水泳の学習は、民間施設を活用することも含めて、屋内プールの使用を検討しているところもあると聞きます。江戸川区内では、校舎改築工事が行われた学校には、とても立派な屋外プールが造られています。私は江戸川区では、今後もしばらくの間は屋外プールを使用していくことになるだろうと予想しています。

さて、皆さんは安藤 百福（あんどう ももふく）さんという方をご存じですか。大手食品メーカーの創業者で、「インスタントラーメンの生みの親」として知られている方です。数年前に、この方がモデルとなったテレビドラマが放送されたこともありましたので、よくご存じの方も多いのではと思います。

安藤さんは「関西の実業家」として活躍されました。若いころから様々な成功もありましたが、同じくらい大きな挫折も経験されています。安藤さんが47歳のときに、自身が理事長を務めていた信用金庫が経営破綻に陥り、大阪府池田市にあった借家以外の全財産を失ったそうです。それでも安藤さんは、「無一文からの生活」を脱却するために、一年間研究を重ねて、世界初といわれる「インスタントラーメン」を完成させ、発売しました。当時、お湯をかけるだけで2分待てば食べられるラーメンが「魔法のラーメン」として賞賛され、大ヒット商品となりました。

このインスタントラーメンを日本だけではなく、世界に広げたいと考えた安藤さんは「カップ麺」を開発します。箸や井がない海外にも、インスタントラーメンを広めたいという思いからでした。

日本はもちろん世界に広まったカップ麺の成功に満足することなく、安藤さんは、「宇宙食」としてのインスタントラーメンの開発も始めます。安藤さんが91歳のときです。そして2005年に、宇宙食ラーメンは宇宙飛行士とともに宇宙へ飛び立っています。

安藤さんは96歳で人生の幕を下ろされています。しかし、安藤さんの残した業績や数多くの言葉から、私達は多くのことを学ぶことができると感じます。

「自らの足で歩き、自らの目で確認しなさい。」

「そうでなければ、あなたの話には重みも説得力もない。」 安藤 百福

私は可能な限り、毎日学校のなかを歩き、教室の様子を見るように心がけています。その上で、教職員と児童や学校のことについての話をするようにしています。